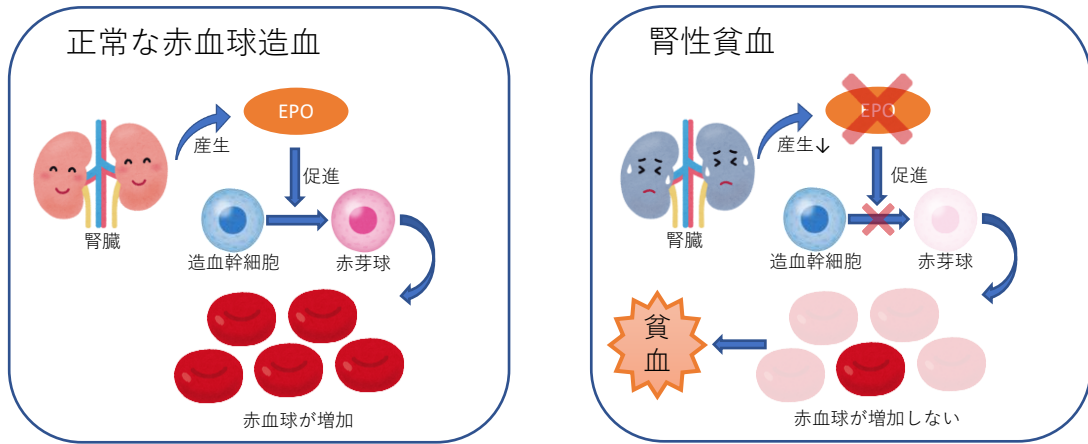


## 腎性貧血とその薬について

### ○腎性貧血の病態

赤血球の造血因子であるエリスロポエチン（EPO）は大部分が腎臓で産生され、低酸素状態下で産生が促進されます。腎不全などで腎機能が低下するとEPO産生も低下し、貧血が進行します。



### ○腎性貧血の治療薬

#### ①赤血球造血刺激因子製剤（ESA）〔エリスロポエチン製剤〕

…EPO自体を補充したり、EPO受容体に作用して、貧血を改善します。

- ◆ 遺伝子組み換えヒトエリスロポエチン … エポエチンアルファ
- ◆ 持続型赤血球造血刺激因子製剤 … ダルベポエチンアルファ、ミルセラ

#### ②HIF-PH阻害薬

HIF (Hypoxia Inducible Factor) : 低酸素誘導因子  
PH (Prolyl Hydroxylase) : プロリン水酸化酵素

…健康な腎臓は、貧血によって酸素の供給が低下したときにEPOを産生する働きを持っていますが、この働きを制御しているのがHIFと呼ばれる転写因子です。HIFは通常の酸素分圧ではHIF-PHと呼ばれる酵素によって分解されてしまい、EPOの産生が低下します。一方で、低酸素時には、HIF-PHが阻害され、HIFaを安定化してEPOの産生を促します。

HIF-PH阻害薬は、低酸素時と同様にHIFaのHIF-PHによる分解を阻害して、HIFaを安定化させ、EPOの産生を促し、貧血を改善します。

- ◆ ダプロデュスタット（ダブロック錠）
- ◆ エナロデュスタット（エナロイ錠）
- ◆ ロキサデュスタット（エベレンゾ錠）
- ◆ バダデュスタット（バフセオ錠）
- ◆ モリデュスタット（マスーレッド錠）

	ESA	HIF-PH阻害薬
特徴	使用実績が多数あり、効果、副作用ともによく知られている。	2019年以降に発売された新しい薬。鉄利用障害の改善が期待される。
投与方法	注射、透析回路内へ投与	経口内服
副作用	高血圧症、悪性腫瘍の増大、血栓塞栓症（脳卒中や心筋梗塞）	

ダブロックは、当院では2023年8月の薬事委員会で臨床試用薬剤となりました

